

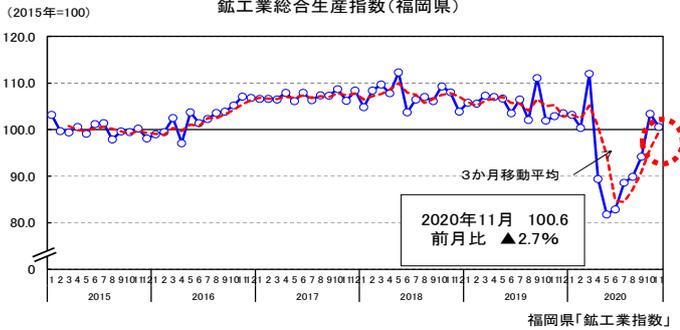
# ふくおかの経済

令和3年1月号



**生産** 持ち直している。

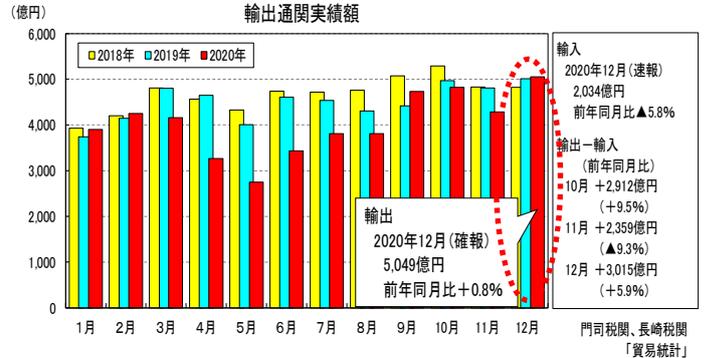
11月の生産指数は、汎用・生産用機械工業などの低下により6か月ぶりに前月を下回っています。



鉱工業生産指数は、2015年の生産水準を100として、その変化を表しています。

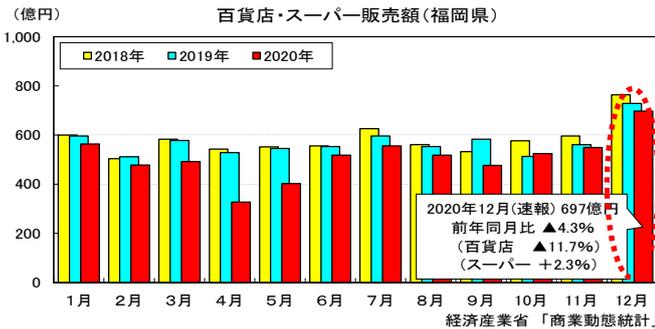
**貿易** 輸出は、持ち直している。  
輸入は、おおむね横ばいとなっている。

12月の輸出は、前年同月比0.8%と3か月ぶりに前年を上回りました。



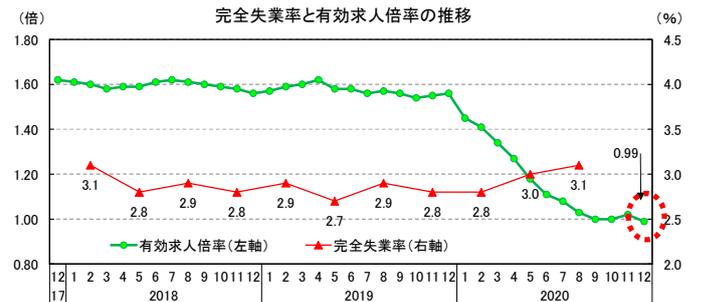
**消費** 持ち直しの動きが緩やかになっている。

12月の百貨店・スーパー販売額は、新型コロナウイルス感染症の影響などから、2か月連続で前年を下回りました。



**雇用** 求人が減少するとともに、求職が増加しており、厳しさがみられる。

12月の有効求人倍率は0.99倍で、前月を0.03ポイント下回りました。



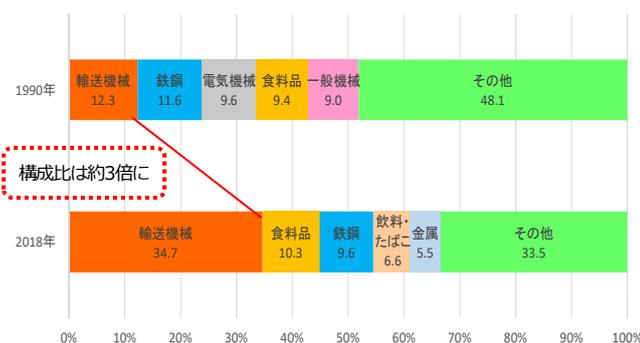
「仕事を探している人の数」に対する「企業の求人数」の割合が有効求人倍率です。1.00倍より大きいと、人手不足を表します。

## 今月のトピック 自動車産業の進出で大きく変わった本県の工業

○今や本県の基幹産業の一つとなった自動車産業は本県の工業全体についても大きな影響を及ぼしています。本県の工業統計における産業別製造品出荷額等構成比の推移を、トヨタ自動車九州や日産車体九州が進出する以前の1990年と、直近の2018年で比較すると、輸送機械の比率が12.3%から34.7%へと、3倍近くになっています(図表1)。

○また、同じ期間の製造品出荷額等全体の推移をみると、約7兆7700億円から約10兆2400億円と、1.3倍に増加(増加額は約2.5兆円)しています。同じ期間の全国の増加率は2.8%(同約9兆円)であり、如何に本県の増加率が大きかったのかが分かります。(図表2)。こうしたことから本県の工業が自動車産業によって大きく伸びたということが言えるのではないのでしょうか。

図表1 福岡県の産業別製造品出荷額等構成比(上位5業種)の推移(1990年→2018年)



図表1,2出所: 経済産業省、福岡県「工業統計」

図表2 福岡県と全国の製造品出荷額等の推移(1990年→2018年)

